

新潟、東京、金沢、魚津、沖縄 5都市による全国共同制作プロジェクト！

## プッチーニ 歌劇『トスカ』《新演出》

全3幕 日本語字幕付 イタリア語上演



photo : LESLIE KEE



題字：河瀬直美

映画監督

## 河瀬直美 オペラ初演出に挑む

2017年	10月	15日(日)	14:00	りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館(新潟県新潟市)
	10月	27日(金)	18:30	東京芸術劇場 コンサートホール(東京都豊島区)
	10月	29日(日)	14:00	東京芸術劇場 コンサートホール(東京都豊島区)
	11月	8日(水)	19:00	金沢歌劇座(石川県金沢市)
	11月	12日(日)	14:00	新川文化ホール 大ホール(富山県魚津市)
	12月	7日(木)	19:00	沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市)

【お問い合わせ】 全国共同制作プロジェクト 広報担当：りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館  
 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2 TEL.025-224-5615/FAX.025-224-5626  
 広報営業課 坂内佳子 [y-bannai@ryutopia.or.jp](mailto:y-bannai@ryutopia.or.jp) 音楽企画課 中尾友彰 [t-nakao@ryutopia.or.jp](mailto:t-nakao@ryutopia.or.jp)

# 舞台は古代日本の雰囲気漂う“牢魔”

## かつてない新解釈による河瀬直美版《新演出》『トスカ』

新潟、東京、金沢、魚津、沖縄…。全国のホールとオーケストラが手を組み、共同で世界レベルのオペラを制作するプロジェクト。演目は「妙なる調和」「歌に生き、恋に生き」「星は光ぬ」と美しいアリアが散りばめられたプッチーニの名作『トスカ』。

カンヌ国際映画祭グランプリ受賞の映画監督・河瀬直美が、オペラ初演出に挑み、指揮は、新潟・魚津・沖縄公演を大勝秀也が、東京・金沢公演を広上淳一が務めます。

舞台は原作のローマではなく、古代日本の雰囲気が漂う“牢魔”という名のとある集落。スリルに満ちた陰謀、壮絶な愛と死を「祝祭の1日に起きた悲劇」として描きます。またもう一つの注目は、映像と舞台美術の融合。河瀬自らが制作する映像と、ニューヨーク在住の気鋭の建築家・重松象平が手がける舞台美術とのコラボレーションにもご期待ください。

### プッチーニ 歌劇『トスカ』《新演出》 Staff&Cast

全3幕・日本語字幕付原語（イタリア語）上演

演出：河瀬直美

指揮：大勝秀也

※新潟(10/15)、魚津(11/12)、沖縄(12/7)

広上淳一

※東京(10/27・29)、金沢(11/8)

トスカ：ルイザ・アルブレヒトヴァ(ソプラノ)

カヴァラドッシ：アレクサンドル・バディア(テノール)

スカルピア：三戸大久(バリトン)

アンジェロッティ：森 雅史(バス)

堂 守：三浦克次(バス・バリトン)

スポレッタ：与儀 巧(テノール)

シャルローネ：高橋洋介(バリトン)

看 守：原田勇雅(バリトン)

管 弦 楽：オーケストラ・アンサンブル金沢

※新潟(10/15)、金沢(11/8)

東京フィルハーモニー交響楽団

※東京(10/27・29)

群馬交響楽団

※魚津(11/12)

琉球交響楽団

※沖縄(12/7)

合唱&児童合唱：各地の合唱団

副 指 揮：辻 博之、垣内悠希

舞台美術：重松象平

照 明：吉本有輝子

音 響：石丸耕一

衣 裳：堂本教子

映 像：河瀬直美

ヘアメイク：フォレスト

舞台監督：酒井 健、金子芳浩

演 出 補：菅尾 友

演出助手：太田麻衣子、堀川 炎

加飾&マネージャー：關 秀哉

総合プロデューサー：山田正幸

## 全国共同制作とは

文化庁の支援を得て、全国の劇場・音楽堂、芸術団体等が高いレベルのオペラを《新演出》で共同制作するプロジェクト。

平成 21 年度から開始し、近年では野田秀樹演出 モーツァルト『フィガロの結婚』（平成 27 年度／全国 10 都市計 13 公演）、笈田ヨシ演出 プッチーニ『蝶々夫人』（平成 28 年度／全国 4 都市計 5 公演）等を開催し、好評を博するなど実績を積んでいる。

平成 29 年度は、新潟、東京、金沢、魚津、沖縄の 5 都市で計 6 公演開催する。

### 平成 29 年度 全国共同制作プロジェクト

共同制作	公益財団法人新潟市芸術文化振興財団 東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団） 公益財団法人金沢芸術創造財団 新川文化ホール（公益財団法人富山県文化振興財団） 沖縄コンベンションセンター（一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー） 公益財団法人沖縄県文化振興会 公益財団法人石川県音楽文化振興事業団（オーケストラ・アンサンブル金沢） 公益財団法人東京フィルハーモニー交響楽団 公益財団法人群馬交響楽団 特定非営利活動法人琉球交響楽団
協力	劇場、音楽堂等連絡協議会
後援	公益社団法人全国公立文化施設協会 公益社団法人日本オーケストラ連盟



平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業



photo : LESLIE KEE

## ■ Director's Note

オペラ演出の経験がないわたしにプッチーニのトスカを演出しないかというお話。ああ、オペラはそれほど自由なのかと畏れ入った。「自由」ほど難しいものはないが、演出依頼の理由はこうだ。「主人公はじめ、主要人物がみんな死んでしまう救いようのない悲劇」そんな異名をもつ本作品に「希望」を与えられる作家だと思うから。大役を仰せつかった。けれど、物怖じしてはられない。初挑戦に心はたかぶる。そんなこんなでお引き受けしたオペラ演出のお仕事。お仕事とは思えない感情。創作というものの原点に立ち戻るような感覚の中で初めての事柄に右往左往しながら、それでもかの「希望」に向かって突き進むのである。

映画作家。生まれ育った奈良で映画を創り続ける。1997年劇場映画デビュー作「萌の朱雀」で、カンヌ国際映画祭カメラードール(新人監督賞)を史上最年少受賞。2007年「殞の森」で、審査員特別大賞グランプリを受賞。昨年は短編部門、シネフォンダシオン部門の審査委員長を務める。映画監督の他、CM演出、エッセイ執筆などジャンルにこだわらず表現活動続け、故郷の奈良において「なら国際映画祭」をオーガナイズしながら次世代の育成にも力を入れている。最新作「光」(2017年5月27日全国公開)が第70回カンヌ国際映画祭で「エキュメニカル審査員賞」受賞。

公式サイト [www.kawasenaomi.com](http://www.kawasenaomi.com)

公式ツイッターアカウント @KawaseNAOMI

1973年福岡県生まれ。九州大学建築学科卒業後オランダへ留学。世界的建築家レム・コールハースに才能を認められ、1998年彼の建築設計事務所 OMA に入所。2002年中国・北京の CCTV / 中国中央電視台新本社屋の主任設計士を務め注目を集める。2006年 OMA ニューヨーク事務所代表。

ブラダの巡回展「ウェイスト・ダウン」、ヴェニス建築ビエンナーレのドミニカ共和国パビリオンなど多様なプロジェクトを展開。ケベック国立美術館、マイアミビーチのファエナ・アートセンターなど文化施設も多数手がけている。

TV番組「情熱大陸」でも取り上げられるなど、建築界を超えて今熱き注目を浴びるクリエイターの一人。

# 河瀬直美版『トスカ』《新演出》あらすじ

## ■登場人物

トス香（トスカ）…村娘・歌も踊りも上手な村のマドンナ	ルイザ・アルブレヒトヴァ
カバラ導師・万里生（カヴァラドッシ）…梵天琉派のシャーマン	アレクサンドル・バディア
須賀ルピオ（スカルピア）…新勢力の親衛隊長	三戸大久
アンジェロッ太（アンジェロッティ）…万里生の仲間のシャーマン	森 雅史
堂森（堂守）…神殿の守衛	三浦克次
スポレッ太（スポレッタ）…ルピオの家来	与儀 巧
シャル郎（シャルローネ）	高橋洋介
看守	原田勇雅
ほか	

## ■あらすじ

古代牢魔のとある集落。祝祭の日、土着信仰のシャーマン・万里生のもとに政府に囚われていた親友・アンジェロッ太が逃げてくる。万里生はアンジェロッ太を匿うが、牢魔の親衛隊長・須賀ルピオは、万里生の恋人で美しい村娘・トス香を言葉巧みに操り、万里生を捕らえる。恋人の命と引き換えに、トス香の肉体を求める須賀。祝祭の花火の中、トス香は須賀の胸にナイフを突き立て、処刑場にいる恋人のもとへ。見せかけの処刑が終われば自由になれると告げる。しかし、須賀の計略で万里生は本当に殺されてしまう。悲しみに暮れ、追手から逃れるように物見台を駆け上がると、てっぺんから身を投げるトス香。その体を夜明けの光が貫くのだった……。



10/15 新潟公演  
11/12 魚津公演  
12/7 沖縄公演

東京生まれ。東京音楽大学卒業。1988年ドイツに渡り、1991年ゲルゼンキルヒェン市立歌劇場第一指揮者、1994/1995シーズンよりボン市立歌劇場第一指揮者。1996年マルメ歌劇場音楽監督に就任。1999年同歌劇場管弦楽団とCDをリリースし、スペイン旅行を行なった。他に、ボン・ベートーヴェン・ハレ管、北西ドイツ・フィル、ザグレブ・フィル等と国内では、N響、新日フィル等と協演、また、オペラでは二期会「フィガロの結婚」、日生劇場「羅生門」、関西二期会「ルチア」「ばらの騎士」「タンホイザー」等を指揮、正統ドイツの薫り豊かな演奏と高く評価されている。現在、昭和音楽大学非常勤講師。ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団正指揮者。



10/27、29 東京公演  
11/8 金沢公演

東京生まれ。東京音楽大学指揮科に学ぶ。第1回キリル・コンドラシン国際指揮者コンクールに優勝し、国際的な活動を開始。これまでノールショピング響首席指揮者、日本フィル正指揮者、ロイヤル・リヴァプール・フィル首席客演指揮者、リンブルク響首席指揮者、米国コロンバス響音楽監督を歴任する傍ら、フランス国立管、ベルリン放送響、ウィーン響、コンサートヘボウ管、モンリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ニュージーランド響などに定期的に客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団にも客演。またオペラの分野でも、シドニー歌劇場《仮面舞踏会》、《リゴレット》、日生劇場《アイナダマール》(日本初演)、《ドン・ジョヴァンニ》、新国立劇場《椿姫》、《アイダ》等での成功が特筆される。京都市交響楽団常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー。2015年4月同響とともにサントリー音楽賞受賞。2016年第36回有馬賞受賞。2017年4月より札幌交響楽団友情客演指揮者。東京音楽大学指揮科教授。

## ■トス香（トスカ）

ルイザ・アルブレヒトヴァ（ソプラノ） ————— Luisa Albrechtova



ブラハ生まれ。2009年ウィーン国立音楽大学で声楽、オペラを学ぶ。2009年ドイツ・パッサウ国際歌唱コンクール第2位。2009年サンドロ・クトゥレーロ指揮ウィンナー・ワルツ・オーケストラのニュー・イヤール・コンサート日本ツアーに参加。2010年バーデン劇場でオペレッタ「ジプシー・ヴァイオリニスト」ジュリエッタ役で出演。2012年ブラティスラヴァ・スロヴァキア国立劇場にてマリア・レジア（世界初演）に出演。

## ■カバラ導師・万里生（カヴァラドッシ）

アレクサンドル・バディア（テノール） ————— Alexandru Badea



ルーマニア出身。わずか20歳でブカレスト国立歌劇場の一員として注目を浴び、その後ザルツブルク歌劇場の出演も果たす。これまでに世界の主要な歌劇場に出演。ワシントン歌劇場で、その芸術監督であるプラシド・ドミンゴの招きにより、ベッリーニの「清教徒」に出演する。共同制作オペラでは2007年金沢&東京芸術劇場『トゥーランドット』（井上道義指揮）にカラフ役で参加し好評を得た。

## ■須賀ルピオ（スカルピオ）

三戸大久（バリトン） ————— Hirohisa San-nohe



青森市出身。武蔵野音楽大学卒業。二期会オペラ研修所マスタークラス修了。第40回イタリア声楽コンクール・シエナ部門金賞。第46回日伊声楽コンクール第3位。平成25年度文化庁新進芸術家海外研修員としてウィーンにて研鑽を積む。2015年12月、神奈川県民ホール開館40周年オペラ『金閣寺』道詮和尚で出演。二期会会員。

## ■アンジェロツ太（アンジェロツティ）

森 雅史（バス）

Masashi Mori



富山県高岡市出身。国立音楽大学卒業。東京藝術大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノに留学の後、ボローニャ歌劇場オペラ研修所に在籍。2015年全国共同制作オペラ『フィガロの結婚』“庭師は見た”前期公演にバルトロ役で出演。名古屋音楽大学専任講師。二期会会員。

## ■堂森（堂守）

三浦克次（バス・バリトン）

Katsuji Miura



新潟県出身。明治大学法学部卒業後、東京声専音楽学校卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。国際ロータリー財団奨学生、五島記念文化財団奨学生としてイタリアへ留学。E.バステリアニーニ国際コンクールで第3位。これまでに藤原歌劇団や新国立劇場における数々の公演に出演。第21回ジロー・オペラ賞受賞。昭和音楽大学講師。藤原歌劇団団員。千葉市在住。

## ■スポレッタ（スポレッタ）

与儀 巧（テノール）

Takumi Yogi



沖縄県出身。国立音楽大学大学院修了。イタリアボローニャにて1年間研鑽。2013年紀尾井ホールにてリサイタル、2014年東京二期会「イドメネオ」タイトルロール、2015年「ウィーン気質」ツェドラウ伯爵役。その他2013年NHK-FM「リサイタルノヴァ」、「NHK ニューイヤーオペラコンサート」へは2014年以降連続出演。二期会会員。

## ■シャル郎（シャルローネ）

高橋洋介（バリトン）

Yosuke Takahashi



東京都出身。東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所へと進み、文化庁新進芸術家海外派遣制度の派遣員として渡英。留学後は東京文化会館主催オペラ BOX でビゼー「カルメン」エスカミーリョ役等に出演。第9回東京音楽コンクール2位及び聴衆賞を受賞。第19回コンセール・マロニエ 21 第1位。現在シュトゥットガルト国立音楽大学在学中。

## ■看守

原田勇雅（バリトン）

Yuya Harada



埼玉県出身。東京藝術大学及び、同大学院修了。イタリア国立パルマ音楽院首席修了。文化庁在外研修員としてイタリアにて研鑽を積む。全日本学生音楽コンクール第1位、イタリア声楽コンクール第1位など、内外で多数の音楽賞を受賞。現在、東京藝術大学博士課程在籍。熊谷少年少女合唱団音楽監督。日本声楽アカデミー会員。二期会会員。

### 【各公演に関するお問い合わせ】

新潟：りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館 事業企画部 坂内、中尾 TEL.025-224-5615

東京：東京芸術劇場 事業企画課 中村、前田、久保、安田 TEL.03-5391-2117

金沢：金沢芸術創造財団 事業課 近藤、牧野 TEL.076-223-9898

魚津：新川文化ホール 坂野、高野 TEL.0765-23-1123

沖縄：（公財）沖縄県文化振興会 文化芸術推進課 宮城 TEL.098-987-0926

### 【チケットに関するお問い合わせ】

新潟：りゅーとぴあチケット専用ダイヤル TEL.025-224-5521（休館日を除く 11:00-19:00）

東京：東京芸術劇場ボックスオフィス TEL.0570-010-296（休館日を除く 10:00-19:00）

金沢：金沢芸術創造財団 事業課 TEL.076-223-9898

魚津：新川文化ホール TEL.0765-23-1123

沖縄：（公財）沖縄県文化振興会 TEL.098-987-0926